

2021 年度

事業報告

2021 年 4 月 1 日から

2022 年 3 月 31 日まで

公益財団法人 世界宗教者平和会議 (WCRP) 日本委員会

はじめに

WCRP 日本委員会は、2020 年に創設 50 周年の節目を迎え、混迷する世界において、宗教者として平和の実現を目指し、国内外で人々が抱える諸問題に積極的に取り組むため、諸宗教間のネットワークや各界との協力を通じて、2021 年度の事業を実施した。

「慈しみの実践: 共通の未来のために——つながりあういのち」の総合テーマのもと、(1) ネットワーク化、(2) 啓発・提言活動、(3) 平和教育・倫理教育、(4) 人道的貢献を行動指針として事業を展開してきた。2021 年度は新型コロナウイルス感染症の蔓延により、オンラインや SNS を活用しながら、創設 50 周年記念事業や第 9 回アジア宗教者平和会議 (ACRP) 大会の開催、新型コロナウイルスの影響に対する支援事業と 5 つの特別事業部門 (タスクフォース) ①核兵器禁止条約批准、②気候危機、③和解の教育、④人身取引防止、⑤災害対応を実施し、平和に関する諸課題についての学びを深め、そのメッセージを幅広く発信した。

I. 事業部門

A. 諸宗教間の対話と協力を通じた平和のための活動と研究を推進する事業

(公1)

事業の趣旨（目的）

諸宗教間の対話により相互理解を深めるとともに、諸宗教間による協力・協働を基盤として、宗教者のみならず、不特定多数の人々に対して、平和を脅かす諸課題の解決のための活動を普及し、宗教の叡智に基づく平和構築のための啓発・提言活動を行うことにより、異文化間または国際的な相互理解の促進、世界平和の確立、より良い社会の形成、豊かな人間性の涵養並びに文化の向上に寄与し、ひいては世界の平和のために貢献する。

1. 諸宗教間対話・ネットワークを通じた宗教協力

(1) 諸宗教間対話・ネットワーク

全事業を通じて、仏教、神道、キリスト教、教派神道、新宗教団体、イスラーム、ヒンドゥー等をはじめとする宗教・宗派間の対話を促進し、平和のために協力するネットワークを構築した。

2021年度の事業は以下の通り。

① WCRP 創設 50 周年記念式典・シンポジウム

期 日：2021年11月24日

場 所：国立京都国際会館メインホール／オンライン

概 要：

WCRP 創設 50 周年記念式典・シンポジウムを『Our Heart for All Beings（共にすべてのいのちのために）～宗教協力の新たな扉～』をテーマに、11月24日、国立京都国際会館メインホール（京都府京都市）で開催した。新型コロナウイルス感染拡大により1年延期となっていたが、当日は新型コロナウイルス感染防止対策が施された中、約350人が参集、150人がオンライン配信を視聴した。

式典は、1970年10月に開かれた第1回WCRP世界大会と同じ会場で開催され、先達への感謝を表し、宗教者が共に手を携え、新たな時代の扉を開けていくことを誓った。また、シンポジウムでは京都大学前総長の山極壽一氏と宇宙飛行士の山崎直子氏が基調講演。最後には、2030年までの行動目標をまとめたWCRP日本委員会の「WJアジェンダ2030」を発表した。内容は、機関誌「WCRP」12月号に掲載。

② 第9回ACRP大会

期 日：2021年10月17日～22日

場 所：立正佼成会法輪閣／オンライン

概 要：

アジア宗教者平和会議（ACRP）の第9回ACRP東京大会が10月19日に開幕した。新型コロナウイルス感染拡大のため1年延期され、立正佼成会の法輪閣（東京都杉並

区) にステージを設け、オンラインで開催した。大会テーマは『行動するアジアの宗教コミュニティ：誰一人取り残さない、健やかで豊かなアジアの平和をめざして』。アジア 21 カ国から正式代表約 120 人を含む約 1500 人が参加した。なお、10 月 17 日には青年事前大会、10 月 18 日には女性事前大会を開催した。内容は、機関誌「WCRP」11 月号に掲載。

③ 「現代の奴隷状態に置かれているアジアの女性と子どもたち」学習会への参画

期 日：2021 年 6 月 22 日～23 日

場 所：オンライン

概 要：

ACRP のアジア太平洋女性信仰者ネットワークが主催する学習会が開催され、森脇友紀子女性部会部会長、WCRP 日本委員会関係者、一般市民らがのべ約 150 人が参加した。内容は、機関誌「WCRP」7 月号に掲載。

④ 韓国宗教平和国際事業団 (IPCR) 国際セミナー

日本・韓国・中国の宗教者・学者が集まり『東北アジア平和共同体構築のための課題』をテーマとするセミナーが開催された。概要は、下記「3. セミナー・スタディーツアー」の通り。

⑤ アフガニスタン難民受入

2021 年 8 月にアフガニスタンでタリバン政権が樹立されて以降、アフガニスタン国内で身の危険に晒され、諸外国へと一時避難を求める人々がいる。WCRP 日本委員会は、WCRP 関係者と日本の NGO からの緊急要請を受けて、11 月上旬よりアフガニスタンからの避難民家族の受け入れを日本で行っている。

(2) ミャンマー支援

① 「ミャンマーに関する特別セミナー」共催

期 日：2021 年 4 月 10 日

場 所：オンライン

概 要：

『ミャンマー国民の叫び—政治、宗教、国際社会の役割』をテーマに、ACRP、WCRP 国際トラスティーズ・日本グループ主催、WCRP 日本委員会共催で開催し、526 人が参加した。内容は、機関誌「WCRP」5 月号に掲載。

② 「ミャンマーの平和を願う祈りと学びの集い」共催

期 日：2021 年 6 月 26 日

場 所：オンライン

概 要：

WCRP 国際トラスティーズ・日本グループと上智大学アジア文化研究所、WCRP 日本委員会の共催、ACRP 東京事務局の後援により「ミャンマーの平和を願う祈りと学びの集い」を開催。約 400 人が視聴した。内容は、機関誌「WCRP」7 月号に掲載。

③ 支援金助成

2021年2月の暴力的な政変によって多くのミャンマー市民が犠牲になったが、それに対してWCRP日本委員会はミャンマー支援募金を実施し、WCRPミャンマー委員会が行うミャンマー国内の脆弱な人々を支援するための事業、ヘルスサポート事業に対して財的支援を行った。内容は、機関誌「WCRP」11月号、2022年2月号に掲載。

(3) ウクライナ情勢関連

ロシア軍による軍事侵攻によって危機的な状況に陥ったウクライナ情勢に対し、2022年3月2日に声明文を発表した（機関誌「WCRP」2022年4月号に掲載）。また、3月10日にオンラインで「ウクライナの平和を願う祈り」を開催し、犠牲者の追悼と早期の平和的解決を祈念した（機関誌「WCRP」2022年4月号に掲載）。3月15日からは、ウクライナから近隣国へ避難をした人々の支援を行うために緊急人道支援募金を呼び掛けた。

(4) 東日本大震災復興支援

コロナ禍で活動の停滞や助成金の減少などで苦境に喘いでいる復興支援団体の「釜石支援センター望」へ支援金を提供した。

(5) 新型コロナウイルスに対するプロジェクト

医療・介護従事者の悩みや不安をオンラインで傾聴する「感染症と闘う医療介護従事者の話を聴く会」を後援し、支援金を提供した。

(6) 災害復興支援

2020年に熊本県を中心に九州地域を襲った「令和2年7月豪雨災害」に対し、特に被害の大きかった熊本県球磨川流域でみなし仮設住宅に移る住民の生活用品の支援を行う「このせ再生委員会」と仮設住宅に居住する児童・園児の学校・保育園への送迎を支援する非営利公益市民活動団体「うきのわ」の2団体に支援金を提供した。

2. 講座

平和を脅かす諸課題について、宗教団体のみならず、不特定多数の人々がより深い理解を得るため、以下の講座を開催した。機関誌やホームページを通じて広報するとともに、その内容を掲載した。

(1) 平和大学講座

期 日：2022年3月10日

場 所：オンライン

概 要：

『宗教はコロナ後の共生社会をどう目指すか』をテーマに開催し、宗教者、研究者、一般市民ら約200人が参加した。一般社団法人神戸国際支縁機構理事長で神戸国際キリスト教会の岩村義雄牧師が基調発題を行った。パネルディスカッションでは、竹村牧男平和研究所所員（東洋大学名誉教授）をコーディネーターに、金子昭平和研究所所員（天理大学おやさと研究所教授）、御手洗隆明氏（真宗大谷派教学研究研究所研究員）、安勝熙平和研究所研究員が登壇した。内容は、機関誌「WCRP」2022年4月号に掲載。

(2) 新春学習会

期 日：2022年1月28日

場 所：立正佼成会法輪閣／オンライン

概 要：

『WCRP のこれから～ACRP 大会と WCRP 創設 50 周年をうけて～』をテーマに約 200 人の宗教者らが参加した。学習会では、第 9 回 ACRP 大会について ACRP 大会受入委員長の黒住宗道理事（黒住教教主）が報告し、50 周年記念式典については 50 周年記念式典実行委員長の西英玄特別会員（北法相宗音羽山清水寺成就院住職）と森脇友紀子女性部会部会長（カトリック東京大司教区アレヤ会会長）が報告した。また、50 周年記念式典で発表した「WJ アジェンダ 2030」について青年部会幹事からの報告があり、その後、田中庸仁理事（真生会会長）コーディネーターのもと、永尾教昭理事（天理大学学長）、松本いく子氏（元アジア開発銀行太平洋局社会開発行政部門部長）、村山博雅師（世界仏教徒青年連盟会長）、工藤信人氏（仏教タイムス編集長）によるパネルディスカッションを行った。内容は、機関誌「WCRP」2022 年 2 月号に掲載。

3. セミナー・スタディーツアー

宗教団体の指導者及び実務担当者をはじめ会員・関係者や関心をもつ人々が、平和構築に寄与するため、様々な宗教や異なる文化に対する理解や、国際社会の中で直面する諸問題への理解を深めることを目的として、以下のセミナーやスタディーツアーを実施した。

(1) 韓国宗教平和国際事業団（IPCR）国際セミナー

期 日：2022年1月20日

場 所：オンライン

概 要：

2009 年から日本・韓国・中国の宗教者・学者が集まり「東北アジアにおける平和共同体構築のための共通基盤を求めて」を基本テーマに行われているセミナーで、2021 年度は『東北アジア平和共同体構築のための課題』をテーマに開催。今回はオンラインで開催し、日本、中国、韓国の宗教者、学者ら約 50 人が参加した。内容は、機関誌「WCRP」2022 年 3 月号に掲載。

4. 平和のための啓発・提言活動

(1) 核兵器廃絶・軍縮に向けた取り組み

核兵器禁止条約批准タスクフォースを中心に核兵器廃絶・軍縮に向けた取り組みを行った。2021 年 1 月に核兵器禁止条約が発効されたことを受けて、2021 年 9 月理事会にてタスクフォースの名称を「ストップ！核依存タスクフォース」に変更した。

① 『パグウォッシュ会議と「非戦」の思想』連続講座シリーズ

2018 年より日本パグウォッシュ会議、明治学院大学国際平和研究所（PRIME）、WCRP 日本委員会の三者が共催し連続講座を開催している。

・第 1 回

期日：2021 年 5 月 28 日 場所：オンライン

講演：田井中雅人氏（朝日新聞記者、PRIME 研究員、ペリー『核のボタン』翻訳者）

テーマ：『核兵器の現状と危険性：禁止条約発効後の喫緊の課題は何か』

内容は、機関誌「WCRP」6月号に掲載。

・第2回

期日：2021年7月16日 場所：オンライン

講演：朝長万左男氏（長崎原爆病院元院長、外務省「賢人会議」メンバー）
川崎哲（ICAN国際運営委員、ピースボート共同代表）

テーマ：『NPT再検討会議と日本：いま何を発信すべきか』

内容は、機関誌「WCRP」9月号に掲載。

・第3回

期日：2022年1月31日 場所：オンライン

講演：前田佐和子氏（地球物理学者、元京都女子大学教授）

テーマ：『軍事化する宇宙：日本の宇宙軍拡と自衛隊南西諸島配備』

内容は、機関誌「WCRP」2022年2月号に掲載。

・第4回

期日：2022年3月19日 会場：オンライン

講演：宮本ゆき氏（デュポール大学教授）

テーマ：『核大国アメリカの課題：戦争文化を変容させることの困難と希望』

② 核兵器廃絶シンポジウム

期日：2021年9月12日

場所：オンライン

概要：

核兵器禁止条約批准タスクフォース主催によるシンポジウムが9月12日、『STOP核依存～宗教者の立場から日米の市民社会が果たす役割を考える』をテーマに開催され、151人が参加した。まず、中村桂子氏（長崎大学核兵器廃絶研究センター准教授）が『核兵器禁止条約の時代——市民社会・軍縮教育・ジェンダーを切り口に』と題して基調講演を行った。また、ブルース・ノッツ氏（ユニテリアンユニバーサリスト協会国連事務所所長）が『Top Five Issues』と題し講演した。この後、パネル発題が行われ、上田知子氏（広島宗教協力平和センター理事長）、古屋敷一葉氏（援助修道会会員、日本カトリック正義と平和協議会委員）、中村涼香氏（上智大学グローバル学部3年）がそれぞれ発題した。内容は、機関誌「WCRP」10月号に掲載。

③ 平和首長会議との連携

核兵器廃絶を目指す平和首長会議との意見交換を行い、今後の協働を確認した。

④ 核兵器禁止条約批准タスクフォース（2021年9月以降、ストップ！核依存タスクフォース）の会合を5回開催し、事業についての協議を行った。

(2) 気候変動に向けた取り組み

① WCRP いのちの森づくりプロジェクト

第8回 ACRP 大会（韓国・仁川）において、「一人が一本の木を植える」ことが提唱さ

れたことを受け、地球温暖化対策の一環として、同プロジェクトを始動した。埼玉県所沢市にある約1万平方メートルの土地に、埼玉県庁、所沢市、地元の住民による「堀口天満天神社周辺緑地を守る会」の協力を得て、植樹活動を実施した。宗教者の実践活動であり、また青少年への環境教育の場とすることを目的としている。2021年4月から2022年3月までは、新型コロナウイルスの感染拡大を防止するために、緊急事態宣言発出中は作業を行わないなど、WCRP日本委員会のガイドラインに沿って作業を行った。また、7月13日に「WCRPいのちの森づくり鎮守社安全祈願祭」を執り行った。気候危機タスクフォースメンバーや「堀口天満天神社周辺緑地を守る会」の地主ら約10人が参加した。祈願祭では堀口天満天神社を祭祀する朝日和久師（中氷川神社禰宜）が斎主を務め、参列者は玉串を奉納した。内容は、機関誌「WCRP」8月号に掲載。

② 感じる地球ワークショップ

期 日：2021年11月13日

場 所：秩父神社

概 要：

『ちちぶむすび市』で「感じる地球ワークショップ」を開催した。ワークショップでは、世界の主要都市のライブ映像や飛行機や船舶の動き、海面温度の上昇や津波の到達の様子が地球儀の球体部分に映し出された。参加者は、多角的な視点から地球儀を見て、実際に操作をし、好奇心や探究心をもって学んでいた。

③ 気候危機タスクフォースの会合を5回開催し、事業についての協議を行った。

(3) 「和解のための教育」への取り組み

① 「平和と和解のためのファシリテーター養成セミナー」及びフォローアップ

和解の教育タスクフォースは、身近な親子間などの関係から国際的なレベルまで、対立を乗り越え和解をもたらす人材を育成することを目的に、「平和と和解のためのファシリテーター養成セミナー」を開催している。2021年度は、第2期の修了式を含む第5回セミナー及び第1期（2017～2018年）・第2期（2020～2021年）セミナー参加者向けに参加者同士の交流及びファシリテーターとしての知見と能力をさらに高めていくためのフォローアップセミナーを行った。

・第2期・第5回セミナー『わたしがうごく、和解がうまれる』

期 日：2021年4月24日～25日

場 所：オンライン

概 要：

参加者が各自事前に作成したMYアクションプラン案を発表、和解の教育タスクフォース委員らからコメントをもらい、セミナー修了後、それぞれの場所で実施していくMYアクションプランを完成させた。最後に修了式を行い、受講生27人中、全5回のうち4回以上出席した参加者18人が修了証を手にした。内容は、機関誌「WCRP」6月号に掲載。

・第1回フォローアップセミナー

『外へふみだすー東北アジアの平和構築について考えるー』

期 日：2021年7月10日～11日

場 所：オンライン

概 要：

松井ケティ講師をはじめ、東北アジア平和構築のために活動している6人の講師から、東北アジアにおける分断と和解について「諸宗教の取り組み」や「人間の安全保障」、「修復的正義」の側面から学び、平和創造の主体である私たちが描く東北アジアの平和ビジョンについてともに考えた。内容は、機関誌「WCRP」8月号に掲載。

② 和解の教育タスクフォース会合を4回開催し、事業に関する協議を行った。

(4) 人身取引防止への取り組み

国内外で人身取引の問題に取り組む団体と連携し、啓発・提言を中心に活動した。

① 学習会

人身取引問題を広く一般へ啓発するために、3回の学習会を開催した。

・スタディツアー～日本編～

期 日：2021年5月23日

場 所：NPO 法人日越ともいき支援会／オンライン

概 要：

『強制労働～外国人技能実習制度の罨～』をテーマに、宗教者、NGO、教育関係者など、約170人が参加した。実際に技能実習生を受け入れている株式会社百姓百品村代表取締役の和氣数男氏が「技能実習生受け入れの際のケアと雇用する立場から見える外国人技能実習制度の問題点」について動画で報告し、次に吉水慈豊氏（NPO 法人日越ともいき支援会代表理事）が、活動紹介とともにベトナム人技能実習生の現状について講演を行った。また、斉藤善久氏（NPO 法人日越ともいき支援会顧問）はインタビュー映像の中で制度へ苦言を呈すると共に、宗教界への期待を述べた。内容は、機関誌「WCRP」6月号に掲載。

・スタディツアー～海外編 Part 1～

期 日：2021年7月17日

場 所：オンライン

概 要：

『性的搾取の最前線 フィリピンから学ぶ新たな人身取引』をテーマに国内外の宗教者ら約120人が参加した。このスタディツアーは、WCRP 日本委員会と WCRP フィリピン委員会の共催、インターナショナル・ジャスティス・ミッション（IJM）の協力によるもの。IJM は子どものオンライン性的搾取に関する取り組みや、アフターケアと継続支援であるアセスメントセンター、シェルター、社会復帰、人身売買防止のための活動などを紹介した。その後、複数のシェルターの様子を映像で放映し、被害者によるインタビュー映像から、人身取引の実態と社会復帰するまでのプロセスを学んだ。内容は、機関誌「WCRP」8月号に掲載。

・スタディツアー～海外編 Part 2～

期 日：2022年3月26日

場 所：オンライン

概 要：

『インドネシアから学ぶ人身取引』をテーマに国内外の宗教者ら約100人が参加した。今回は、WCRP 日本委員会と WCRP インドネシア委員会の共催、ルマ・ハラパン (GMIT) の協力によるもの。インドネシアで人身取引の問題に取り組むプロテスタント教会を母体とした団体「ルマ・ハラパン」の活動を映像で紹介し、続いて被害者の20代女性の経験を映像で放映した。タスクフォースメンバーによるインタビューを行った後、参加者はグループワークを行い、感想を共有した。内容は、機関誌「WCRP」2022年5月号に掲載。

② 声明文・記者会見

7月30日の人身取引反対デーによせて、政府や企業、そして広く日本社会に向けて、人身取引の根絶を求める声明を発表した。7月27日には、人身取引防止タスクフォースの宍野史生責任者(扶桑教管長)をはじめ同運営委員ら6人が、内閣府を訪れ、政府の同問題を担当する森本敦司参事官に本声明文を手渡した。その後、記者会見を行った。内容は、機関誌「WCRP」9月号に掲載。

③ 人身売買禁止ネットワーク (JNATIP) への参画

人身売買禁止に取り組む NGO や研究者、法律家によるネットワークに加盟し、2ヵ月に1回程度、情報交換のため、会合に参加した。

④ 人身取引防止タスクフォース会合を5回開催し、事業に関する協議を行った。

(5) 「災害」への取り組み

① 災害オンライン学習会

期 日：2021年6月15日

場 所：オンライン

概 要：

『コロナ禍における宗教者による災害への備え「特別な配慮が必要とされる人々」への支援』をテーマに、これまでの災害支援を振り返ると共に、未だ終息が見えないコロナ禍において、被災に対して深刻な状況に置かれる立場の路上生活者や障がい者、高齢者等の「特別な配慮が必要とされる人々」に対する宗教者の災害支援について、オンライン学習会を開催した。参加者は、加盟教団の信徒や NPO 関係者、市民など120人が集った。内容は、機関誌「WCRP」7月号に掲載。

② 災害対応タスクフォース会合を5回開催し、事業に関する協議を行った。

(6) 「難民問題」への取り組み

・シリア難民留学生の受け入れ

2017年より、認定 NPO 法人難民支援協会と共にシリア難民を日本語学校の留学生として受け入れを実施している。5期生5人は当初2021年4月頃来日予定であったが、新型コロナウイルス蔓延のため2022年3月末に来日した。

- ・J-FUN（日本 UNHCR・NGO 評議会）への参画
国連 UNHCR や難民問題について活動する NGOs と 2 ヶ月に 1 回程度、情報交換のため、会合に参加した。

5. 平和のための調査・研究

当団体に専門の研究機関として「平和研究所」を設け、平和に資する調査・研究を継続している。2021 年度は、以下の通り 9 回の研究会を開催した。

また、研究会の内容は、機関誌「WCRP」に掲載し、広く情報提供すると共に、書籍を毎年約 500 部発行し、宗教関係者・大学・研究所・図書館並びにマスコミ関係者に約 400 部を無料で配布している。報告書に関する詳細は、以下の「8. 広報活動」にある通り。

(1) 研究会

① 第 1 回研究会

期 日：2021 年 4 月 20 日

場 所：オンライン

発表者：金子昭（平和研究所所員、天理大学おやさと研究所教授）

テーマ：「天理教災害救援ひのきしん隊の半世紀—被災地との繋がりとおよび世の治まりを願って—」

② 第 2 回研究会

期 日：2021 年 5 月 18 日

場 所：オンライン

発表者：森伸生（平和研究所所員、拓殖大学イスラーム研究所所長）

テーマ：「現代医学とイスラーム法的対応」

③ 第 3 回研究会

期 日：2021 年 6 月 28 日

場 所：オンライン

発表者：山崎龍明（平和研究所所長、武蔵野大学名誉教授）

テーマ：「仏教の根本思想と平和論—戦争・国家・日本国憲法をめぐって—」

④ 第 4 回研究会

期 日：2021 年 7 月 20 日

場 所：オンライン

発表者：根本信博（アジア宗教者平和会議（ACRP）事務総長）

テーマ：「アジア宗教者平和会議（ACRP）第 9 回東京大会 2021 *RIP* の展望と ACRP が取り組むべきアジェンダ 事務総長見解」

⑤ 第 5 回研究会

期 日：2021 年 9 月 21 日

場 所：オンライン

発表者：竹村牧男（平和研究所所員、東洋大学名誉教授）

テーマ：「SDGs と食の宗教性について」

⑥ 第6回研究会

期 日：2021年11月29日

場 所：オンライン

発表者：ホアン・マシア（平和研究所所員、元上智大学教授、イエズス会司祭）

テーマ：「再び会う道～教皇フランシスコ著『Fratelli tutti 人類は皆兄弟姉妹』における《和解への歩み》について～」

⑦ 第7回研究会

期 日：2021年12月21日

場 所：オンライン

発表者：藤本頼生（平和研究所所員、國學院大學准教授）

テーマ：「吉田茂とその時代―「目白の吉田」と呼ばれた革新官僚の戦後から―」

⑧ 第8回研究会

期 日：2022年2月15日

場 所：オンライン

発表者：齋藤忠夫（平和研究所所員、東北大学名誉教授）

テーマ：「食品ロスの削減により世界の飢餓を救う」

⑨ 第9回研究会

期 日：2022年3月29日

場 所：オンライン

発表者：西原廉太（平和研究所副所長、立教大学総長）

テーマ：「ロシアによるウクライナ侵攻とその背景にあるキリスト教」

(2) 所員会議を9回行い、研究事業や運営についての協議を行った。

6. 女性による平和活動

女性の特性を活かした平和活動を推進するための「女性部会」を設け、不特定多数の人々を対象として、いのちの尊厳に対する理解を深めるための学習会や、平和教育・倫理教育に資するため、青少年のいのちに関する意識や考え方についての実態を研鑽している。

(1) 宗教別学習会

期 日：2021年7月3日

場 所：オンライン

概 要：

同学習会は、さまざまな宗教教団や施設を訪問し、教団の歴史や教義、平和の取り組みなどについて学び、相互理解を深めることを目的としている。2021年度は初めてオンラインで開催し、WCRP 役員、女性部会委員、会員、一般参加者など約50人が参加した。学習会は「ムスリム世界連盟」(MWL、本部・サウジアラビア) 日本支部協力のもとで開催され、アナス・ムハンマド・メレー・アルアンサリ博士 (MWL 日本支部代表)

が講演を行った。内容は、機関誌「WCRP」8月号に掲載。

(2) 女性部会委員会を5回開催し、事業や運営についての協議を行った。

7. 青年による平和活動

青年の特性を活かした平和活動を推進するための「青年部会」を設け、宗教伝統や文化をより理解し、相互交流を図るため、サマーキャンプや日韓青年交流会などのプログラムを実施している。

(1) 公開学習会

期 日：2022年3月5日

場 所：オンライン

概 要：

『心と社会のバリアフリー～見えない壁が見えてくる～』をテーマに公開学習会を開催し、青年部会幹事、関係者など50人が参加した。今回は、障がい者とともに暮らす社会づくりをめざして、SDGsの目標10「人や国の不平等をなくそう」や目標11「住み続けられるまちづくりを」に焦点を当て、公開学習会を開催した。NPO法人障害平等研修フォーラムによる「障害平等研修 (DET)」を行い、「障がいとは何か」「障がいはどこにあるのか」を参加者へ問いかけながら演習を進行。障がいとは当事者が持つものだけでなく、社会にある障壁も障がいであると体感した。内容は、機関誌「WCRP」2022年5月号に掲載。

(2) サマーキャンプ2021

期 日：2021年8月28日

場 所：オンライン

概 要：

『心と地球のSDGs 自分実感、繋がり体感』をテーマに開催し、青年部会幹事、WCRPに関心のある青年・会員など65人が参加した。ライブ中継にて宗教施設訪問を行い、京都・清水寺でのオンライン参拝、東京・寛永寺でのオンライン坐禅を実践した。また「感じる地球 de SDGs-ing!」を実施し、『福祉・心と体の健康』をテーマに、世界の貧困率や乳児死亡率をデジタル地球儀で視覚的に触れ、学びを深めた。続いて、青年部会トイレ掃除の極意5箇条を発表し、「トイレ掃除の実践」をそれぞれの自宅や職場で行った。その後、「手話」、「ダンスエクササイズ」、「廃材でLet's DIY」の3つのワークショップを実施した。内容は、機関誌「WCRP」9月号に掲載。

(3) CommuniHeart プロジェクト

若い女性の生きづらさという課題に対応するため、「自分らしい選択をし、自他の交わりを通して主体的に生きていくための」プロジェクト「CommuniHeart (コミュニハート) プロジェクト」を立ち上げた。この事業は苦しみや喜びを共有することで、人生の見方に変容を与え、生きる希望を促し、一人ひとりの心の拠り所となるコミュニティを形成するものである。そのコミュニティの中で「本来の自分」に出会うことで、喜びと自信を互いに見出し、激動の世界において、女性が翻弄されずに主体性を持ち、尊厳に溢れた生き方を選択できることを目的にセミナーを開催し、現在20人が参加している。

① 第1回

期 日：2021年9月19日～20日

場 所：オンライン

テーマ：『わたしという“いのち”』

1日目は「いのち」に焦点を当て、命の奇跡や生命力の偉大さについてレクチャーを受けたあと、受精から誕生までのイメージワークを通して自分の命と繋がる体験をした。2日目は「幸せ」に焦点を当て、オンライン機能を駆使した「幸福ミュージアム」のワークショップを開催。参加者は「自分の幸せは何か?」「今、本当に幸せなのか?」など自分自身を見つめた。内容は、機関誌「WCRP」10月号に掲載。

② 第2回

期 日：2021年11月14日

場 所：オンライン

テーマ：『わたしと“つながり”』

自分を隠さず、良好な人間関係を築くために、自分の心と向き合うワークショップを行い、言葉による爽やかなコミュニケーション方法を体験・学習した。内容は、機関誌「WCRP」2022年2月号に掲載。

③ 第3回

期 日：2022年2月13日

場 所：オンライン

テーマ：『わたしの“コミュニケーション”』

コミュニケーションがいかに関見や思い込みに左右され、制限されているかを学ぶとともに、ロールプレイを行った。次に、スマホ・SNSとの付き合い方について学びを深め、最後に「私のデジタルマニフェスト」と題し、今後スマホ・SNSとバランスよく付き合いしていくための生活習慣を作成した。内容は、機関誌「WCRP」2022年3月号に掲載。

(4) 感じる地球 de SDGs-ing !

期 日：2021年6月27日

場 所：オンライン

概 要：

参加者は WCRP に関心のある青年など 10 人。デジタル地球儀「感じる地球」を使って、貧困や地球温暖化など地球上で起きている問題について学びを深め、それぞれの課題について、自分たちは何ができるかを考えた。「気候変動 (SDGs 目標 13)」、「陸の豊かさ (SDGs 目標 15)」を取り上げ、WCRP 日本委員会気候危機タスクフォースが取り組む「WCRP いのちの森づくりプロジェクト」を紹介した。内容は、機関誌「WCRP」7月号に掲載。

(5) 青年部会幹事会を4回実施し、事業や運営に関する協議を行った。

8. 広報活動

当団体の事業等を広く一般に周知し、国内外の宗教状況、諸宗教の対話、国際社会が直面

する平和を脅かす諸課題に関する情報などを広く一般に提供するため、以下の広報活動を行った。

(1) マスコミ関係者との情報交換

2021年度は、9つのプレスリリースを発行し、マスコミ関係者等に送付したほか、ホームページに掲載した。また、6月23日にWCRP創設50周年式典に向けて京都市下京区で、9月2日に第9回ACRP大会に向けて東京都新宿区で記者懇談会を開催した。

(2) ホームページ、SNS

ホームページを通して、事業報告や告知を行った。随時更新するとともに、広く一般に学習会等への参加を呼びかけ、その申し込みの受付を行い、市民からの問い合わせに対応した。また、YouTubeチャンネルやInstagram、Facebook、Twitterを通して、広く一般に情報発信を行った。

(3) 出版

①機関誌「WCRP」

毎月2,650部発行し、会員のみならず、宗教関係者・大学・研究機関・図書館・国連やNGO関係者並びにマスコミ関係者等、約1,300部を無料配布した。また、ホームページ等を通じて広報し、申込者に対し年間購読料1,000円で送付した。

②2020年度活動報告

2021年12月に2020年度活動報告を1,500部発行し、WCRP日本委員会関係者・会員のみならず、NGO/NPO、国連機関、図書館、マスコミ関係者等に約1,000部を無料配布した。また、機関誌及びホームページ等を通じて広報し、申込者に無料で提供した。

③平和のための宗教 対話と協力14

平和研究所所員による研究報告を掲載。500部発行し、WCRP日本委員会役員のみならず、図書館、マスコミ関係者等に400部を無料配布した。また、機関誌及びホームページ等を通じて広報し、申込者に頒価(800円)で提供した。

④50周年記念出版「私の夢とWCRP—カンボジアから未来へ」

1970年代にカンボジアでWCRP日本委員会が運営した難民キャンプで生活していた元カンボジア難民のノウン・ヴァンナック氏の著書「私の夢とWCRP」を出版した。

II. 法人運営部門

1. 法務に関する業務

- (1) 内閣府への報告等及び登記事務他
- (2) 法人に関する業務

2. 会議に関する業務

- (1) 評議員会
- ①第22回評議員会

期日：2021年6月23日

場所：メルパルク京都（京都府京都市）／オンライン

②第23回評議員会

期日：2022年1月28日

場所：立正佼成会法輪閣（東京都杉並区）／オンライン

(2) 理事会

①第36回理事会

期日：2021年6月3日

場所：立正佼成会法輪閣（東京都杉並区）／オンライン

②第37回理事会

期日：2021年9月17日

場所：リーガロイヤルホテル京都（京都府京都市）／オンライン

③第38回理事会

期日：2022年1月28日

場所：立正佼成会法輪閣（東京都杉並区）／オンライン

④第39回理事会

期日：2022年3月10日

場所：メルパルク京都（京都府京都市）／オンライン

(3) その他諸会議の運営及び記録他

①総合企画委員会 6回開催

3. 監査に関する業務

2021年5月25日に実施

4. 財務に関する業務

- (1) 資産運用及び管理に関する業務
- (2) 経理、会計、記帳計算に関する業務

5. 文書管理に関する業務

各種文書の作成、提出、管理及び保管他

6. 人事及び福利厚生に関する業務

勤怠管理、安全衛生及び福利厚生他

7. 庶務に関する業務

- (1) 什器備品、印刷物、公印等の管理他
- (2) その他どの部門にも属さない事項の処理他

以 上

2022年5月24日

公益財団法人 世界宗教者平和会議（WCRP）日本委員会